



IBJ防除情報

(*は、Ishihara Bioscience Japan=石原バイオサイエンスの略)

第7号



困っているんだ～

いまどきの防除

(病害虫の発生予察と薬剤による防除対策)

●農水省は9月8日、向こう1か月の主要病害虫発生予報を発表しました。その中から主な作物を対象に、発生が「多い」と発表された病害虫とその地域及び防除農薬(当社の推奨農薬)を一表に纏めましたので推進のご参考にして下さい。 注) FL:フロアブル 水:水和剤 乳:乳剤 DF:ドライフロアブル 粒:粒剤

作物別	病害虫名	発生が「多い」地域	防除農薬(当社推奨農薬)	
だいず	ハスモンヨトウ	関東、近畿、九州	アタブロン乳	
野菜	ねぎ	アザミウマ類	ウララDF,アタブロン乳,ガゼット粒	
		シロイチモジヨトウ	アタブロン乳、テルスター水	
	いちご	アブラムシ類	ウララDF、ガゼット粒	
	きゅうり	アブラムシ類	ウララDF、テルスター水及びFL、ガゼット粒	
	トマト	灰色かび病	東海	カリグリーン
	なす	アザミウマ類	北関東	ウララDF、アタブロン乳、ガゼット粒
		アブラムシ類	北関東	ウララDF、テルスター水及びFL、ガゼット粒
		ハダニ類	北関東	テルスター水及びFL、アカリタッチ乳
野菜共通	オオタバコガ	関東	アタブロン乳、トアロー水及びFLなどで防除可能です。登録内容(特に使用可能な作物名)を充分確認の上ご使用ください	
	ハスモンヨトウ	関東、北陸、近畿		
果樹	なし	ハダニ類	関東	テルスター水
		ナシシンクイガ	南関東	テルスター水及びFL
		ハマキムシ類	南関東	テルスター水及びFL
	ぶどう	べと病	北関東	ランマンFL
茶	炭疽病	南九州	フロンサイドSC	
	チャノミドリヒメヨコバイ	近畿、九州	ウララDF、テルスター水及びFL	
	チャノホソガ	九州	テルスター水及びFL	

*使用に当たっては、製品ラベルをよく読み、登録内容の確認を充分に行ってください。
*展着剤を使用する場合は「まくびか」をお奨めします。



新しい農薬です

IBJの新農薬

(適用拡大を含む)

● 本年8月1日～9月10日までの間に、登録された新農薬(適用拡大を含む)は、次の通りです。

登録日	薬剤名	登録内容(適用拡大を含む)のあらまし	
		対象作物	内容
23.9.7	ドウジガードフロアブル	水稲(除草剤) *北海道、東北用	・適用雑草の拡大: クログワイ(東北)、オモダカ(東北)、シズイ(東北)
	ドウジガードLフロアブル	水稲(除草剤) *関東、甲信越以西用	・適用雑草の拡大:クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ(関東・東山・東海、九州)
	ドウジガード1キロ粒剤75	水稲(除草剤) *北海道、東北用	・適用雑草の拡大:クログワイ(東北) ・適用土壌の拡大:北海道/砂壤土～埴土
	ドウジガード1キロ粒剤51	水稲(除草剤) *関東、甲信越以西用	・適用雑草の拡大:クログワイ(北陸)、オモダカ(九州を除く)、ヒルムシロ、コウキヤガラ(関東・東山・東海、九州) アオミドロ・藻類による表層はく離(関東・東山・東海) ・適用土壌の拡大:九州/砂壤土～埴土

*適用土壌の拡大:下線で表わす。

防除に関するQ & A

なんで??
どうして??

Q. ランマンフロアブルによるかんきつの褐色腐敗病防除について教えてください。

A. 褐色腐敗病の病原菌は土壌にいます。台風などの強い雨による土壌の跳ね上がりで果実に付着、感染します。発病した果実が感染源となり、さらに周辺や上位の果実に蔓延していきます。



褐色腐敗病の
感染・蔓延過程

①降雨による跳ね上がり・冠水ですす成り果が感染。

②さらに上位の果実に感染・蔓延。

★ランマンフロアブルは予防効果主体の殺菌剤ですので、台風又は強い降雨前の散布がより効果的です。降雨前に散布ができなかった場合は、降雨後、すみやかに散布を行きましょう。

(感染拡大防止)

★すそ成り果には、特に丁寧に散布してください。

ランマンフロアブルのかんきつ褐色腐敗病の登録内容は下記の通りで、収穫前日まで使え、使用回数も3回まで使えます。

農薬適用内容(抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍率	使用液量	使用時期	総使用回数	使用方法
かんきつ	褐色腐敗病	2000倍	200~700L / 10a	収穫前日まで	3回以内	散布

この果実への散布が重要!!



ご説明
します。

どんなこと?どういう意味?(用語解説)

水に希釈して散布する農薬の剤型は、原体成分の水との親和性と、効果を安定して引き出す為、さらには計量のし易さ等も勘案して、決まっています。弊社の製品には、水和剤、SC・フロアブル、DF・顆粒水和剤・乳剤・液剤が有ります。

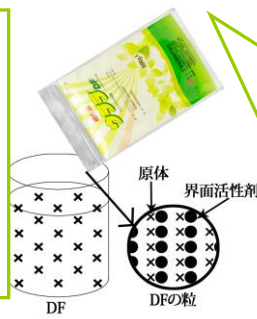
今回は、この内、水和剤、SC・フロアブル、DF・顆粒水和剤を紹介し、残りは回を改めて紹介致します。



水和剤は、水に溶けにくい成分を微粒子とし、増量剤と界面活性剤を加えた粉末製剤で、水に希釈、懸濁させて用います。



SCは、フロアブルと同義語で、懸濁製剤又は、ゾルとも呼ばれます。成分の微粒子を分散剤と増粘剤を用いて予め水に安定して懸濁させた製剤で、水で希釈した場合の懸濁性は、水和剤より優れます。



DFは、顆粒水和剤と同義語で、他社ではWDG・WGとも書かれています。成分を無機担体(キャリアー)、界面活性剤と共に粒状にした製剤で、水に希釈すると、水和剤の希釈液と同様の微粒子懸濁液となり、成分が均一に分散します。



ISK 石原バイオサイエンス株式会社 本社 普及部
〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号
TEL 03-5844-6320 FAX03-3812-6548

ホームページ アドレス <http://www.iskweb.co.jp/ibj/>